【授業科目】看護研究演習　　Seminar of Advanced Nursing Research

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大西信行、杉崎一美 大谷喜美江、工藤安史	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	この演習では量的・質的研究の実際について学ぶ。研究テーマの設定、論文をまとめる際の手順、調査票の作成、研究計画書の執筆など論文の実践について演習を行う。先行研究の発表、研究デザインの選定、具体的な解析方法、調査票の作成などについて、教員が助言を行いつつも、学生間でディスカッションを中心に講義を展開する。授業は実務家教員（大西、杉崎、大谷、工藤）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／討議、プレゼンテーションを通して、ピアおよび教員からコメントを伝える。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー②、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①　量的および質的研究について、種類や特徴、概念枠組み等、データ収集・分析方法、結果の表記・考察方法などがわかり、自身の研究テーマに活用することができる。 ②　疫学及び統計学に関する基礎知識を理解でき、自身の研究テーマに活用することができる。 ③　看護研究の研究計画書について理解し、立案することができる ④　看護研究における倫理について理解を深め、それに基づいた研究計画書を作成できる。
時間外学習に必要な 内容・時間	シラバスの毎回の内容について、予習しておくこと（各１時間）。 毎回配布される資料を熟読し、復習をして次回の授業に臨むこと（各１時間）。 講義内容をもとに自分自身の研究課題と対応させ考え、研究計画を立案・企画する（各1～2時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１～2 回　質的研究の具体的方法を学ぶ：研究デザイン、データ収集、分析（内容分析、質的統合法、SCAT 等）	①②杉崎
	第 3～7 回　量的研究の具体的方法を学ぶ：疫学、統計に関する基礎知識と研究への適応：研究デザイン、分析（単純集計、相関、多変量解析、因子分析等）	③～⑦工藤
	第 8～9 回　混合法の具体的方法を学ぶ：アクションリサーチ、プログラム評価等	⑧⑨大西
	第 10 回　ケースレポート・事例研究の具体的進め方を学ぶ:	⑩大西
	第 11 回　研究計画書立案、グループワークについて	⑪大谷
	第 12～13 回　グループワーク、演習： 興味のあるテーマに対しリサーチクエッションと文献検索を行い、プレゼンテーションを実施する。	⑫⑬大谷、 工藤、大西
	第 14～15 回　グループワーク、演習： 興味のあるテーマに対し質的研究・量的研究の手法を用い研究計画書を立案し、プレゼンテーションを実施する。	⑭⑮大谷、 工藤、大西

評価方法 評価基準	授業への参加度およびレポートから総合的に評価する。		
教科書	使用しない	参考書等	適宜紹介する